



上柴中学校3年 深海 あすか

私達は今、この広い世界の中で生き、それぞれの人生を送っています。ですが、この世界では、戦争や冷戦が絶えません。一体どうすれば、争いのない平和が訪れるのでしょうか。私は、差別をしたりせず、個性を大事にして、お互いに助け合うようにすることが大切だと思います。しかし、自分はそれがあまりできていないように思います。最近では、親に対して冷たくしてしまい、悩ませたり、悲しませたりしてしまっていたと思うからです。

私は、中学へ入り三年目になったというのに、人を思いやるという当たり前のことが、当たり前に出て来なくなってきた。そんな時、新聞の「若者の声」という投書欄に、高一の女子生徒のものが掲載されていたのです。内容はバスの通学時に、つえをついたおばあさんに、席を譲ろうと勇気を出して「どうぞ」と言って、「結構です」と、冷たい態度で断られた経験から、

親切の意味がわからなくなり、再び冷たく「結構です」と言われるのが恥ずかしくもあり、悲しいので、「小さな親切ができなくなってしまうとう」というものでした。私は、複雑な気持ちになりました。つえをついていたその人は、まだ自分は、席を譲られる程の年寄りではない、または若いつもりでいたのにおせっかいだったのかもしれない。でも、女子高生の勇気を出して声を出した行動は、尊敬に値するものだと私は思います。周りで聞いていた人がいたとしたら、きっとその人達も、私と同じ気持ちになったと思います。勇気を出して親切にして拒絶され、もう小さな親切ができなくなりそうという彼女の声がつらく胸に響きました。そんな彼女の声に、大人達もどうか応えてほしいのです。初めは小さな親切でも、めぐりめぐって豊かな社会を作る基盤となり、みんなを幸せにすると思うからです。小さな親切をすることは、世の中を明るくする第一歩だし、自分自身を幸せにすることに繋がるとは思っています。私も、自分を大切に思う気持ちと同じ様に、他者への思いやりの気持ちを持って、まずは、親と素直に向き合ってみたいと思っています。そしていつか、小さな親切ができればいいなあと思っています。

Letter
ありがとうの手紙

最優秀賞
小学校低学年の部

おとうとへ
上柴東小学校1年 佐藤 寧音 さん

わたしのおとうとは、すごくあばれんぼうです。わたしがかしてあげたものは、かえしてくれないし、おこってなきます。でも、いなくなってしまうとおもいません。おとうとがうまれたとき、わたしは、すごくうれしかったんだよ。はじめてさわったときのほっぺがやわらかくて、とてもかわいくて、みるくをあげたとき、おいしそうにのんでくれました。けんかもたくさんするけど、おとうとがいてくれたからおねえちゃんです。ありがとね。

地元の旬を食べつくせ!
かんたん料理レシピ
「ベジタブルリゾット」

材料 (4人分)
ハウレンソウ1/2束、なめこ1/2カップ、ご飯3カップ、固形スープの素1個、パルメザンチーズ1/2カップ、バター・塩・こしょう各少々

作り方
①ご飯はざるに入れて、水でさらしてぬめりを取る。
②ハウレンソウは色よくゆで、水にさらしてから水気を切り、2cmの長さに切る。バター大さじ1でいためる。
③水3 $\frac{1}{2}$ カップの中に固形スープの素を入れ、煮立ったら①を加える。沸騰したら弱火にし②となめこを加えて、ひと混ぜし、塩・こしょうで味を整える。
④③にチーズを散らし、とろけたら火を止める。



夢なかるべからず

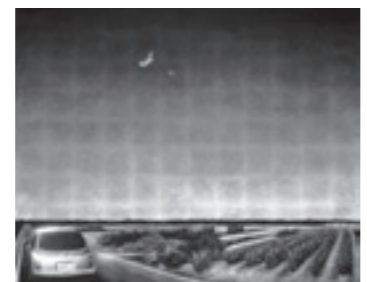
こばやし まさなお
小林正直 さん

絵の魅力を広めたい



人間の欲望・腐敗を独特に風刺し、見る人を冥界・異次元の世界へと誘う。そうかと思うと、心温まる絵本も手掛ける。白と黒の濃淡を基本

個展
物心ついた頃から「将来は絵を描きたい」という思いは常にあった。だが、縫製業を営む父の影響もあり、ファッションデザイナーの道を進んだ。ファッションの世界も多種ある。幼児服から婦人服など幅広い。人気のあるティーンズを手掛けた数社を転々とし、独立。そして、失敗した。振り返れば、それが功を奏した。大学を卒業した後毎日、筆を握った。技術と感覚を磨くためだ。十数年の間に描いた絵は相当の数になっていた。知人の勧めもあり、個展を開いた。約40点の作品を展示したのは、2004年、40歳の時である。この個展が大成功した。傾きかけていた人生に漸く光明が見



代表作「右肩上がり」
福島県喜多方市主催、第15回「2009公募：ふるさとの風景展」大賞受賞作品

浮世絵
現在、製作活動の傍ら、企画展に協力する。沢山の人が絵の魅力を感じてほしいと願っているからだ。集客力のあるイベントは、絵画の絶好の宣伝場である。多岐に亘る絵を展示し、絵に触れる機会を提供することで、元来、日本人が持つ美的感覚に訴えかける。かつて日本は、水墨画や浮世絵で世界を席巻した。良き文化の遺伝子が潜在している。その意識を最少の色彩で描くことで呼び起こし、人を自然に絵の世界へ導いていきたいと願う。

夢七訓
夢なき者は理想なし
理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし
成果なき者は幸福なし
ゆえに 幸福を求める者は夢なかるべからず※